

# —HI. CommunicationEngine技術情報—

前略、下記 HI. CommunicationEngine技術情報をお送り致しますので、ご使用の際はご注意くださいようお願い申し上げます。

〒135-0061  
東京都江東区豊洲3-2-24  
豊洲フォレシア9階  
TEL (03)6773-3800 (代表)

ルネサス セミコンダクタ  
パッケージ&テストソリューションズ株式会社

題目	HI. CommunicationEngine MAILクライアントに関する制限事項		発行番号	CE-1605-002	
			分類	1. 仕様変更 2. ドキュメント訂正追加等 ③ 使用上の注意事項	
適用製品	HI. CommunicationEngine-MAIL V2.00, V2.20, V2.21, V2.21r1, V3.00, V3.01, V3.02	対象ロット	関連資料	MAILクライアント リファレンスマニュアル(SMTP編) MAILクライアント リファレンスマニュアル(POP3編)	有効期限
		全ロット			永年

HI. CommunicationEngine MAILクライアントについて以下の制限事項があるため、ご確認頂きますよう宜しくお願い致します。

## 1. SMTPメール送信における制限事項

送信するメールのヘッダフィールドにおいて、2バイト文字（または半角カタカナ文字）が含まれる場合、送信メールが正しくエンコードされません。

### 1.1 現象

以下の(1)～(3)に設定する文字列に、2バイト文字（または半角カタカナ文字）が含まれる場合、ヘッダフィールドのMIMEエンコードが行われずにメールが送信されるため、メールを受信するメールクライアントソフトによっては、ヘッダフィールドが正しく表示されない場合があります。

- (1)「送信メールの管理情報」に設定するメール件名
- (2)宛先メールアドレスの登録(SMTP\_addFile)サービスコールで指定するファイル名
- (3)ヘッダフィールドの登録(SMTP\_addHeaderField)サービスコールで指定するフィールド・ボディ

メール件名に2バイト文字が含まれる場合の例：

正しく表示される場合： Subject: 送信テストメール件名

正しく表示されない場合： Subject: \$BAw?. %F%9%H%a!<%k7oL>(B

### 1.2 発生条件

送信するメールの件名、添付ファイル名、その他の追加登録したヘッダフィールドに、2バイト文字（または半角カタカナ文字）が含まれる場合に発生します。

### 1.3 回避策

- (1)送信するメールの件名、添付ファイル名、その他の追加登録したヘッダフィールドには、ASCII文字を使用してください。
- (2)メールを受信するメールクライアントソフトのOutlook Express 6、またはThunderbird 24.1.1においては正しく表示されることを確認しています。メールを受信する場合は、これらのメールクライアントソフトを使用してください。

なお、メール本文、添付ファイル内容については、正しくエンコード処理が行われるため、本問題は発生しません。

## 2. POP3受信メールにおける制限事項 1

受信メールのヘッダフィールドにおいて、2バイト文字が含まれている場合、不要なスペースがデコード後のメールのヘッダフィールドに挿入される場合があります。

### 2.1 現象

受信したメールのヘッダフィールドで、2バイト文字が含まれるフィールドが複数行に分割（改行）されている場合、受信メールのパート分割 (POP3\_dividePart) の処理によって、改行されていた位置に不要なスペース1文字が挿入されます。

メール件名が複数行に分割された場合の例：

<デコード前>

```
Subject: =?iso-2022-jp?B?GyRCQTQzUSMOIzAjYiN5I3QjZSMxIzIjMyMOIzUjNiM3IzgjOSMwGyhC?=  
=?iso-2022-jp?B?GyRCIzEjMhsoQg==?=?
```

<デコード後>

```
Subject: 全角40byte1234567890 12
```

↑  
不要なスペースが入る

### 2.2 発生条件

受信したメールのヘッダフィールドに2バイト文字が含まれており、かつ、そのフィールドが複数行に分割されている場合に発生します。

### 2.3 回避策

本制限事項の回避策はありません。

なお、メール本文、添付ファイル内容については、正しく処理が行われるため、本問題は発生しません。

## 3. POP3受信メールにおける制限事項 2

受信したメールのヘッダフィールドで、デコード前の文字数が998byte以上の行を含む場合、受信メールのパート分割 (POP3\_dividePart) サービスコールの処理が完了しません。

### 3.1 現象

RFCにおいて、ヘッダフィールドの1行の文字数は、改行を除いて998byte以内と制限されていますが、1行の文字数が改行を除いて998byteのヘッダフィールドを含むメールを受信した場合、POP3\_dividePartサービスコールの処理が無限ループとなるため、終了しません。

### 3.2 発生条件

1行の文字数が改行を除いて998byte以上のヘッダフィールドが含まれるメールを受信した場合に発生します。

### 3.3 回避策

本制限事項の回避策はありません。

なお、メール本文、添付ファイル内容については、正しく処理が行われるため、本問題は発生しません。

以上